

手を取りて美しき国を

(昭和二十八年寮歌)

山本玉樹君 作歌
三河勝彦君 作曲

一

倒れたる友の姿を
忘るまじ我らが胸に
恐ろしき雲空に充ち
けがれたる祖国の山河に
新しき緑の息吹が
若者の槌音に和し
もろ人の幸深めつつ
この町にこだます日まで

二

沸き出でよ新らしき歌
消すまじ自由の歌を
わだつみの声をばひめて
去り果てし若き生命に
たくましき若き鼓動が
美しき歌声に和し
平和なる国を築くと
海こえてこだます日まで